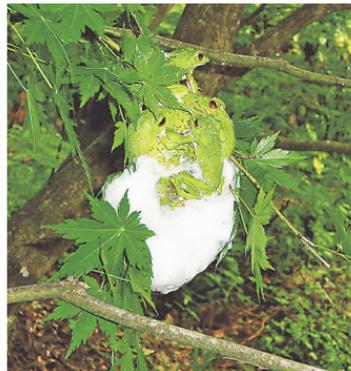


モリアオガエル（上がオス）



粘液を出し、足で卵をかき混ぜるオス

## 産卵のため水辺に

雨が似合うカエルと言えばアマガエルを思い浮かべられる人も多いと思いますが、よく似たカエルで、この時期にだけよく観察できるカエルがいます。モリアオガエルです。

体長が5〜10センチくらいでアマガエルに比べると、かなり大きいカエルで、普段は森や林の木の上で生活し

ているため見つけにくいのですが、5月の終わり頃から産卵のために、池などの水辺にやってきます。

産卵の方法も変わっていて、水面の上に伸びた木の枝などに卵を産みます。メスが卵を産むとオスが粘液を出し、足でかき混ぜるために、白っぽい泡状の卵のかたまり（卵塊）ができます。生まれたオタマジャクシは、卵塊から1匹ずつ水面に落ちて泳ぎ始めます。この不思議な繁殖行動は、この時期、モリアオガエルのプールで観察することができます。（田中純）